

アフリカ豚コレラ (ASF) 防疫推進状況

10月7日、農林畜産食品部は ASF 防疫推進状況を公表したところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbWFmc mEIMkY2OCUyRjMyMTU5NiUyRmFydGNsVmllldy5kbyUzRg%3D%3D>

【本文】

(発生や殺処分の現況)9月16日、坡州での発生後、10月6日まで13件のアフリカ豚コレラが発生し、13の発生農場と3km以内の防疫帯農場(江華郡の残りの農場を含む)の殺処分は全て完了した。

(申告現況)昨日(10.6)は、抱川市官仁面の農場と保寧市川北面の農場から2件のアフリカ豚コレラ疑い畜申告があったが精密検査の結果、2件とも陰性と確認された。

(坡州・漣川・金浦の買い上げや殺処分の現況)坡州市と金浦市全体の残りの豚と漣川郡の発生農場10km以内の残りの豚に対する買い上げと買い上げ後に残った豚に対する予防的殺処分を推進中。

坡州の場合、10,454頭が買い上げ申請され、1,111頭の買い上げ価格決定。

金浦の場合、3,290頭が買い上げ申請され、2,539頭の買い上げ価格決定

漣川の場合、22の農場約34千頭を対象に買い上げの申請を受けている。

買い上げは、申請農家別に順次進められ、買い上げが完了する農家ごとに予防的殺処分が行われる予定。

〈主要防疫措置〉

(重点管理地域消毒)京畿道北部地域は一日2回消毒を実施しており、残りの地域も、一日1回消毒を実施。

*京畿・江原・仁川の消毒車両動員:軍の消毒車両など409台(10月6日)

(重点管理地域統制)京畿道北部地域(10市郡)の畜産車両に対する移動統制を持続実施しており、現在まで19台を管制して3台を摘発、5台を事前警告して復帰措置し、11台は違反車両がないことを確認。

(精密検査)13件の発生農場の疫学農場と3km内の防疫帯内の農場599戸に対する精密検査が行われ、現在まで、すべて陰性が確認。

(電話調査)10km 内の防疫帯の農家や疫学農家 1,671 戸に対する電話調査を毎日実施しており、現在まで異常なし。

(境界地域の道路などの消毒)境界地域の道路、河川周辺を受け、軍除毒車(38)、煙幕車(10)、地方自治体車両(17)、農協車(33)及び山林庁のヘリコプター(1台)を動員して集中的に消毒を実施。

(DMZ の航空防除)非武装地帯(DMZ)地域のアフリカ豚コレラウイルス汚染解消のための江華から高城までを7の圏域に区分して山林庁のヘリコプター7台を動員して10月5日から10月11日まで航空防除を実施。

(以上)